

安心・信頼してかけられる医療の確保に関する事業 (医療サービスの機能の充実と重点化・効率化)

とりまとめ

「安心・信頼してかけられる医療の確保に関する事業(医療サービスの機能の充実と重点化・効率化)」

PDCAには納税者の視点が不可欠だが、医療費の仕組み、現状や公定価格である診療報酬の改定プロセスが国民に十分に伝えられているとは言い難い。医療費効率化に向けた各般の取組をレビューシートに明示しフォローアップ等を実施して国民に対し明らかにするほか、医療費負担者である国民の声をこれまで以上に反映できる枠組みを構築するべきではないか。

医療費の効率化施策や診療報酬改定において、PDCAサイクルが適切に活用されているとは言い難いことから、診療報酬改定で本体と薬価をそれぞれ独立して決定できるよう意思決定過程を改めるとともに薬価の下落分を診療報酬本体の引き上げ原資とすることは合理性を欠くことからやめるべきではないか。また、レセプトの悉皆的分析を実施し診療報酬改定や医療効率化に反映すべきではないか。

さらに、医療の改善のための対応として診療報酬の改定という手段が有効でない場合も考えられることから、他の選択肢も含めて十分に吟味した上で有効な措置を選択すべきではないか。

論点についての評価

「安心・信頼してかけられる医療の確保に関する事業（医療サービスの機能の充実と重点化・効率化）」

論点1 医療費の仕組み・現状や公定価格である診療報酬の改定プロセスを、国

民に十分に伝えられているか

十分に伝えられている 0 名

十分とはいえない 5 名

改善策（複数回答可）

レビューシートの記載内容を充実 3 名

複雑な医療制度や専門性が高い医療用語等を分かりやすく表現 3 名

国民の声をこれまで以上に反映できる枠組みの構築 4 名

広報の強化 0 名

その他 2 名

- 診療報酬改定で本体と薬価をそれぞれ独立して決定できるように意思決定過程を改める。
- 第三者が問題点や課題を整理して公表する仕組み

論点2 医療費の効率化施策や診療報酬改定において、PDCAサイクルが適切に

活用されているか

活用されている 0 名

活用されているとはいえない 5 名

改善策（複数回答可）

医療費効率化に向けた取組をレビューシートに明示 4 名

各々の施策に関するPDCAの状況をレビューシートで明示 1 名

診療報酬における医療課題に応じたアウトカムの設定 4 名

診療報酬改定と他の政策手段のメリ・デメを検証した上で政策手段を選択 3 名

その他 2 名

行政改革推進会議「秋のレビュー」

- レセプトの悉皆的分析を行って、診療報酬改定や医療効率化に反映してPDCAサイクルを活用する。
- レビューシートに適正化の数値目標と評価基準を明記する。

評価者コメント(評価シートに記載されたコメント)

- 有益な情報を得るために、どのような調査を行い、改善していくべきなのかをPDCAで回していくべき。
- 診療報酬は、一般国民にとっては公共料金であるにも拘らず、その根拠は必ずしも明確に説明されていない。
- 総原価方式ではなく、政策的意図が入って決定されている。従って、政策目的、定量的なアウトカム指標を設定し、改定の効果を検証する等のPDCAサイクルを明確に導入すべきである。
- 診療報酬の改定という手段が有効でない場合も考えられることから、何が有効な政策手段か見極める必要がある。
- 税金を投入している以上“受け身的”に負担金等を投入するのではなく、医療費の適正化に向けた戦略的目標を立てて、それに基づいてレビューシートの評価(PDCA)もなされるべき。
- PDCAには納税者の視点＝コストの適正化が不可欠。
- 薬価の実勢価格への引き下げ分を診療報酬本体の引き上げ原資とすることは医療費負担が増大する中で合理性を欠くから禁止すべき。
- 適当な病床数を実現するため、7対1入院基本料を大幅に引き下げるべき。こうしたインセンティブを診療報酬でやること自体に本来は無理があった。
- 自然増のうち、高齢化要因にかかわるもの以外については、伸びない様に施策目標を設定すべき。